

安全に関するご注意

警告

- 自転車・自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。
交通事故の原因となります。
- 歩行中にご使用になる場合は、周囲の交通に十分注意してください。
交通事故などの原因となります。

注意

- 接続されたAV機器の音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のご注意

- 金属部分が直接肌に触れますので、金属アレルギーの方やその恐れのある方は使用しないでください。
また気温が低い冬場などは、装着時または使用中に冷たく感じる場合があります。(HA-FX3X、HA-FX33Xのみ)
- 使用中にイヤークリップがはずれて耳の中に残ってしまった場合は、耳に損傷を与える可能性がありますので、自ら摘出は行わず、ただちに医師の診療を受けてください。
- イヤークリップが確実に取り付けられていないと使用中には、はずれて耳の中に残る場合があります。
ご使用前には必ずイヤークリップが確実に取り付けられていることをご確認ください。
- ヘッドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止してください。
使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- イヤークリップ、クリップを誤って飲み込まないように、小児の手の届かないところに保管してください。
- 冬場など乾燥した場所では、静電気により耳に刺激を感じる場合があります。
- 許容入力以上の音量を加えると、音が歪んだり、振動板を壊す場合がありますのでご注意ください。
- ヘッドホンのプラグを抜くときは、コードを引っ張らないで必ずプラグ部を持って抜いてください。
- コードをAV機器本体に巻きつけると、プラグ部のコードが断線することがありますので巻きつけしないでください。
- 高温多湿な場所での放置は、故障の原因になりますので避けてください。
- 密閉型インナーイヤークリップヘッドホンは、歩行時などにコードのこすれ音や身体に伝わる音が聞こえる場合があります。
- イヤークリップに汚れが付くと音質に悪い影響を与えます。
イヤークリップが汚れた場合は、本体からはずして薄めた中性洗剤で手洗いしてください。
洗浄後は水分をふき取ってからご使用ください。
- イヤークリップは消耗品のため、通常の使用や保存の状態でも、経年変化で劣化します。
劣化によりイヤークリップがはずれやすくなり、使用中に耳の中ではずれて残る場合があります。
劣化が見られた場合は別売の交換用イヤークリップEP-FX2をお使いください。
- 本機をモノラル機器に接続すると、L側(左)からしか音が聞こえません。
その場合は別売アダプターAP-112Aをお使いください。
- 標準ジャック(φ6.3mm)のヘッドホン端子付AV機器に接続する場合は、別売アダプターAP-113Aをお使いください。

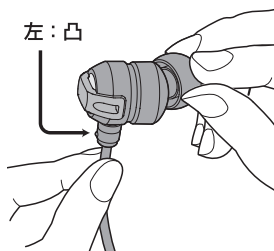
ご使用方法

1. ヘッドホンの左右を確認します。
(L側(左)には半円形の凸形状があります。)

2. イヤーピースはお買い上げ時には
M(中)サイズが装着されています。

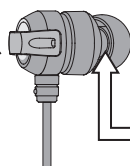
サイズが合っていないと低音が不足したり音漏れの原因になります。

良い音質で楽しんでいただくために、
S(小)/M(中)/L(大)から最適な
イヤーピースを選び、耳穴にフィットさせてご使用ください。



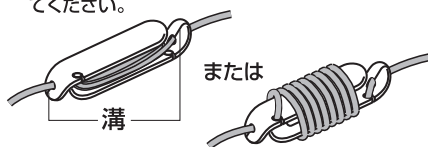
イヤーピース交換時のご注意

- 図に示すようにイヤーピースが確実に取り付けられているか、ご確認ください。
- イヤーピースが確実に取り付けられていない場合は使用中に、はずれて耳に残ることがあります。イヤーピースが耳に残った場合、耳に押し込まないよう十分注意してください。



コードキーパーのご使用方法

1. コードを片方の溝に固定してください。
2. 図のようにコードを巻きつけて、長さを調節してください。
3. 巻きつけた後に、もう一方の溝にコードを固定してください。



コードキーパー使用上のご注意

- 断線の原因になりますので、プラグや分岐部を巻きつけしないでください。
また、コードは軽く巻きつけてください。

アフターサービス

修理については、購入販売店にご相談ください。